

## 【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	一宮市家庭教育支援チーム (呼称: 子育てネットワーカー一宮)
活動開始年度	平成9年度
活動拠点	市内公民館12ヶ所をはじめ15ヶ所
活動範囲	一宮市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(学校・家庭・地域の連携協力推進事業) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )
組織体制	子育てネットワーカー 93 人
具体的な活動内容	<p>1:フレッシュママ交流会(3会場・1会場につき2回/月)                      1歳未満児を持つ母親を対象に、ストレスを発散できる場の提供と新しい友達づくりを支援するため、子育ての不安をはじめとするいろいろな思いについて話し合う際にコーディネーター役を務め母親の身近な存在として相談に乗ったり、親子でできる遊びについて教えたりする。また、行政職員等から子育てに役立つ知識を学ぶ機会も提供する。</p> <p>2:フレママひろば・ステップアップママひろば                      (13会場・1会場につき1回/月)                      フレママひろばは2歳未満の乳児と母親を、ステップアップママひろばは2歳以上の未就園児と母親を対象に、地域に密着した子育てを支援するため、市内各地域の会場で母親たちが集まり、子育てに関する様々な情報交換や日頃のストレスを発散できる場、及び子育てに役立つ知識(フレママひろばのみ)を提供する。</p> <p>3:ぴよぴよらんど(2回/月)                      年齢制限を設けず、幼児と母親を対象に、ママ友づくりや親子遊びを通して家族の絆を深めるため、幅広い年齢の親子が交流し、子育てに関する様々な情報交換や日頃のストレスを発散できる場、及び、子育てに役立つ知識を提供する。</p>

活動を通して感じていること  
(成果、課題など)

成果:

孤立しがちな育児の中、母親同士やネットワーカーと話すことでつながりが生まれ、育児に対する不安やストレスの軽減に役立っている。

課題:

支援の対象が提供した場へ来ていただけた方のみになってしまうため、来ていただけない方への対応。また、来たくても様々な環境変化によって施設等に来ることができない方への支援体制。

需要に比べボランティアが不足しているため、1人で複数の会場を掛けもちしており、一人ひとりにかかる負担が大きいため、今後のボランティアの確保も課題の一つ。